

第32回

ジュニア知事さん
入選作品集



令和6(2024)年度

とちぎの未来をつくる皆さんへ

小学校四・五・六年生の皆さんから、「もし私が知事になったら、こんなことをしてみたい」というテーマで作文を募集したところ、一、〇一六名の皆さんから応募をいただきました。本当にありがとうございました。

栃木県の魅力をたくさんの人に知ってもらうための提案をつづった作品もあれば、暮らしの中で気付いた身の回りの課題を題材にした作品もあり、内容はさまざまですが、どの作品にも共通しているのは、「ふるさと」とちぎをより良くしたい」というまっすぐな想いです。皆さん一人ひとりが、栃木県の将来について真剣に考えてくださっていることを、心からうれしく、また頼もしく思っています。

未来の栃木県をつくる皆さんにお願いです。これからも、ふるさとを大切に思う気持ちを忘れず、栃木県への愛着を深めていってください。そして、ともに力を合わせ、未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持てる栃木県を築いていきましょう。

令和六年十二月十一日

栃木県知事 福田富一

四年生

- とちぎの職業体験テーマパーク
- リサイクルの金メダル
- 人と人がつながる県
- 特産品で被災地を救う
- 守りたいホタルの川

五年生

- 一度は乗りたい！栃木の路面電車
- 希望あふれる水族館病院
- 世界へ羽ばたけ とちぎっ子
- 心のバリアフリーあふれる栃木県を目指して
- 「食」の祭典を栃木から

六年生

- 知ってもらおう活動
- 大人も子供もいいねカード条例
- 児童交換学習会
- 「とちぎっ子TV」で栃木県を盛り上げる
- 魅力を伝える「栃木パーク」

宇都宮市立雀宮中央小学校	小林 諧……………1
益子町立七井小学校	田山 光一朗……………2
那須塩原市立三島小学校	丸山 明依……………3
宇都宮市立中央小学校	森田 智仁……………4
茂木町立茂木小学校	山口 千尋……………5
那須塩原市立大山小学校	青柳 眞乃佳……………6
那須塩原市立大山小学校	石戸 陽和……………7
下野市立緑小学校	井上 慎二郎……………8
真岡市立真岡小学校	松本 実子……………9
下野市立祇園小学校	村上 紗英子……………10
作新学院小学部	加茂 佑梧……………11
足利市立東山小学校	熊谷 颯敏……………12
那須塩原市立大山小学校	中江 朱里……………13
宇都宮市立横川東小学校	宮澤 里桜……………14
下野市立古山小学校	山口 遥……………15

とちぎの職業体験テーマパーク

宇都宮市立雀宮中央小学校 四年

小林 こばやし

諧 かい

ぼくが知事になったら、栃木県の企業の職業体験ができるテーマパーク（とちぎ版キットザニアのような施設）をつくりたいです。

この施設では、栃木県の有名な企業に協力してもらい、その仕事を楽しく体験して、遊

栃木県には東京にあるような小学生が職業体験できる施設が少ないです。しかし、栃木

び感覚で、将来栃木県で働いてくれる人が学べます。多くの人に何回も来てもらうために体験料などは無料にし、かかるお金はこの考

県はものづくりが有名で、車や食品づくりなど、たくさんすばらしい企業があります。

えに協力してくれる人から寄付を集めます。さらに、休憩スペースでは、栃木県の特産

小学生のうちから県内の企業の魅力を知り、栃木県で仕事をしたい、大人になっても栃木県に住みたいと思ってもらうことが大切です。

品を使った献立を益子焼で提供し、県外の人にも栃木県の魅力を伝えます。この施設で、小学生の職業体験をもりあげていきたいです。

リサイクルの金メダル

益子町立七井小学校 四年

たやま
田山

みついちろう
光一朗

全国調査で栃木県の印象は「わからない・特に
ない」が一位。とても悲しい。そこでぼくが知
事になったらリサイクルに力を入れていきたい。
なぜなら、パリ五輪では環境問題の取り組みを
沢山行って世界から注目を集めたことを知った
からです。その中でもフランス全体で生ゴミを
リサイクルしていることにおどろきました。生
ゴミをリサイクルする理由を大人に聞いたりネ
ットで調べてみると生ゴミは燃えるゴミの約40
%、生ゴミそのものは約80%が水分だから、燃
やすのに沢山の燃料を使って二酸化炭素を沢山
出すそうです。ゴミにするととても地球に悪い
物だけれど、リサイクルしているフランスでは
エネルギーに変えてバスを動かしたり堆肥に変
えて野菜や果物を育てているそうです。生ゴミ
を栃木県全体でリサイクルしていけば、地球に
やさしい栃木県をアピールできて、いつか日本
全体が変わっていくリサイクルの先頭・リサイ
クルの金メダルがもらえる県になることを目指
したいです。

人と人がつながる県

那須塩原市立三島小学校 四年

まるやま
丸山 明依

「これは便利だ。」初めてLRTに乗った時に思った。LRTが近くにあれば、私も一人で大すきな図書館に行けるし、遠くに住んでいる友達にも会いに行ける。車の運転ができなくて、も自由に移動できる。そんな未来を想ぞうしてみた。

乗れるように「見守りロボ」をせっちする。困ったことがあればすぐにコントロールセンターに連絡が行き、対おうしてもらえる仕組みだ。一両に一台せっちして、みんなが親しみやすい見た目がいい。てい車場は、公共し設、病院、駅、ショッピングモールだ。

私が知事になったら、栃木県をLRTでつなごきたい。LRTが走れない場所は、自動運転バスを走らせる。どんな人も安心して住みつけられる栃木県が理想だ。まず、だれでも一人で

そんな栃木県に私はしたい。

場所と場所がつながれば、人と人がつながる。人と人がつながれば、心と心がつながる。

特産品で被災地を救う

宇都宮市立中央小学校 四年

もりた
森田

ともひと
智仁

ぼくは、被災地石川県生まれ、栃木県育ちの知事として、特産品で被災地を支援していきたい。ぼくは、今年のお正月に石川県に来て、大きな地震を経験した。能登半島地震だ。たくさん物が落ちてきて、ガラスもわれ、とてもこわかった。たくさんの人がなくなったらしい。今でも、ひなん所で生活している人がいる。ぼくは、自分に出来ることはないかと考え栃木県の特産品である「かんぴょう」を石川県の人に送ることにした。なぜなら、昔から非常食として使われてきたから。そしておすしが大好きな石川県の人が喜んでくれると考えたから。かんぴょうは、全国生産量の九十八%以上が栃木県だ。栄養価も高い。かんぴょうは夕顔の実からできておりふくべという。大きくなったものはふくべ細工になる。あの丸みのある形と独特の絵柄は明るい気持ちにさせてくれる。今度はふくべ細工を送ろう。かんぴょうが水を吸った時のようにふっくらとした気持ちにできたらうれしい。

守りたいホタルの川

茂木町立茂木小学校 四年

山口 やまぐち
千尋 ちひろ

ぼくの家では、毎年六月に近所の川へホタルを見に行くことがこう例行事となっていています。おじいちゃんが「昔はもっとホタルがいたよ。」と教えてくれました。今でもたくさんホタルがいますが、このホタルをぼくの子どもやまご世代にもこのこしたいので、ぼくが知事になったら、このホタルをなくさないよう、きれいな川を守り続けることを提案します。

ことです。水草やホタルのエサの貝がたくさんいる川にするために、毎年五月には川の清掃活動をします。川の中や周りをきれいにすることはホタルだけでなく自然を守ることにつながります。そして六月にはホタルの感謝の会をします。そうすることで、来年もホタルを見られるように川をきれいにしようという意しきが高まります。きれいな川とホタルで、栃木県の未来を明るくしてほしいです。

まず必要なことは、今の自然をこわさない

す。

一度は乗りたい！栃木の路面電車

那須塩原市立大山小学校 五年

青柳 あおやぎ

眞乃佳 まの か

私が栃木県知事になったら、栃木県全ての市町村に路面電車を設置したいです。去年、栃木県が元気な明るい県になると思うし、各宇都宮市に栃木県初の路面電車「LRT」が市町村の良さを伝えるにもとっておきの方法導入されてから、そう思うようになりました。だと思いました。

LRTは、黄色い車体が特徴の電車として知られています。でもそれは、宇都宮市の電車の特徴なので、他の市町村は黄色ではない色にしたいと思います。例えば、牛乳で有名な那須塩原市の路面電車は牛柄で派手にしたり、とちおとめで有名な真岡市は、見るだけで、牛柄の路面電車を使って通学したいです。

そして、通学にもこの路面電車を活用したいと思います。わくわくするような柄の電車に乗って学校に行けるとなると、学校が嫌いな子供だって喜んで学校に行ってくれらると思つたからです。私も家から学校までが遠いの

希望あふれる水族館病院

那須塩原市立大山小学校 五年

いしど ひより
石戸 陽和

私が知事になったら、水族館のある病院をつくりたいです。出してほしかったからです。病気になって落ちこんでしまう人がいると思うので、少しで

私がつくりたいと思う水族館は、病院に入ってもリラックスできればいいと思います。二つ目の理由は、病院の待ち時間などの空いてすぐエレベーターがあり、二階に上がると目の前には大きな水そうがあります。他にもたくさん水そうがあり、いろいろな魚を見ることが出来ます。来て少しきんちょうしている人でも、水族館の魚などを見て、きんちょうをほぐしてもらいたいと思ったからです。

私が病院に水族館をつくりたいと思った理由は二つあります。このような病院をつくり、今よりももっと

一つ目の理由は、とう病中の人にも元気を

栃木県をすてきな所にしていきたいです。

世界へ羽ばたけ とちぎっ子

下野市立緑小学校 五年

いのうえ
井上 慎二郎
しんじろう

ぼくが栃木県知事になったら、こども総合
大学を設立したいです。

子どもたちは小学校でいつもの授業を受け
るだけでなく、研究日や研究時間に自分が一
番好きなことを研究します。

たとえば、恐竜が好きな子は恐竜の本を読
んで調べものをしたり、モデルを作ったりし
て、それを自主学習としてまとめるのが宿題
です。

スポーツが好きな子は、じっくり練習する

時間にします。バスケットやサッカーなら、栃木
県内のプロチームに協力してもらい、先生に
なってもらいます。その日できたこと、でき
なかったことをまとめるのが宿題です。

インターネットも活用します。県内の他の
小学校で同じテーマの研究をしている子と情
報交かんをして学び合います。

こうして、栃木県にはいろいろな分野の専
門家がたくさん育って、日本だけでなく世界
で活やくすると思います。

心のバリアフリーあふれる栃木県を目指して

真岡市立真岡小学校 五年

まつもと みこ
松本 実子

私には好きなアーティストがいます。そのアーティストは性同一性障害であり、生きにくい世の中に悩んでいたそうです。性同一性障害について調べていくと、他にもたくさん障害があることが分かり、全ての人が生きやすい世の中になるといいな、という気持ちになりました。

そこで私が知事になったら、心身に障害をかかえる人達と県民が会談できる場をつくりたいと思います。その場で今の生活で困って

いること、どんな社会になれば生きやすくなるかなど、率直な意見を聞きます。そして、私達にできることを話し合います。それにより、普段考える機会の少ない社会的課題について深く考えることができ、障害について理解するきっかけになると思います。

このように理解者を増やしていくことこそが、「心のバリアフリー」につながると考えます。そして、差別なく全ての人が平等に生きられる栃木県を目指したいです。

「食」の祭典を栃木から

下野市立祇園小学校 五年

村上 むらかみ

紗英子 さえこ

私が知事になったら、栃木県の農作物をより多くの人に食べてもらったり、知ってもらったたりするために、とちもぐフェスを開きます。このフェスは、栃木県で収穫された食材を多く使って、栃木県の各都市と交流のあるアメリカやフランス、ドイツなどの料理を作ります。例えば、アメリカのチーズステーキやフランスのガレット、クレープに栃木県産の肉やチーズ、米粉、フルーツなどを生かすことができます。こうして作られた料理

を地元の人や観光客に食べてもらい、栃木県の「食」の魅力を発信します。

たりするのために、とちもぐフェスを開きます。このフェスは、栃木県で収穫された食材を多く使って、栃木県の各都市と交流のあるアメリカやフランス、ドイツなどの料理を作ります。例えば、アメリカのチーズステーキやフランスのガレット、クレープに栃木県産の肉やチーズ、米粉、フルーツなどを生かすことができます。こうして作られた料理

栃木県は、町と農地のきよりが近く、農産物を新鮮なうちに消費者へ届けることができます。このことをより多くの人に知ってもらえるように、友好都市や姉妹都市と協力して栃木県の「食」の魅力を伝えたいです。

とちもぐフェスを通して、栃木県に来てみたいと思う人がもっと増えるといいなと考えます。

知ってもらおう活動

作新学院小学部 六年

加茂 かも
佑梧 ゆうご

ジュニア知事と聞いて、私は知事の仕事や 県政というのを知らない事に気付きました。 事の仕事に興味を持ってもらえるよう、訪問

栃木県には十五歳までの子供が約二十万人い や講演活動をしたいです。

ます。私には選挙に行く機会もなく投票権も 具体的には、体育館等の大きな場所ではな
ありません。そのため県政についてや、知事 く、教室を回り一人一人の声が届く距離で、
の仕事について知る機会がなく、多くの小中 県政についてや今力を入れている事等を話し
学生がこれらに興味を持たないのではないか たり、子供が疑問に思っている事を遠慮なく
と考えました。 発言出来るような時間を作ったりしたいです。

私がジュニア知事になったら、それらを解 そしてこの県の未来を、大人と子供が一緒
決するため県内の小中学校を訪問し、栃木県 に考えていけるようになれば良いと思います。

大人も子供もいいねカード条例

足利市立東山小学校 六年

くまがい
熊谷

はやと
颯敏

僕は、いいねカードを県として制定したい
と思います。

この様に良いことをしたら、少しでも認め
てもらえるそんな制度を作っていきたいと思

僕の通っている小学校では、いいねカード
という物があります。例えば、先生の片づけ
を手伝っていると先生が、ありがとうとい
ながら、いいねカードにコメントを付けて渡
してくれます。これは、いつ、どこで、どの
先生からももらえるかわかりません。もらうと
とても認められた気持ちになり、うれしく、
もっと頑張ろうと思います。

います。良いことをしているのに、誰からも
認めてもらえない時やほめられないさみしさ
があった経験がある人は、結構いるのでは、
ないでしょうか。確かに人にほめられる為に
やっている訳ではないという人もいるかもし
れません。それでも、認められればうれしい
ものです。これを僕たちから大人の人にも、
実践できたらと思います。ありがとう。

児童交換学習会

那須塩原市立大山小学校 六年

なかえ
中江 朱里
あかり

私が知事になったら、近くの小学校同士で 童が少人数の学校を、少人数の学校の児童が年に数回「児童交換学習会」をしたいと思います。 多人数の学校生活を体験できたりもします。 ます。例えば、A小学校のクラスが三十人 他の小学校に、気の合う友達ができるかもしれません。 だとしませぬ。 A小学校の児童が六人残り、B、

C、D、E小学校から六人ずつA小学校に来 児童交換学習会をすると、他の学校の良いるところとします。そして、その三十人で授業を受 ところを参考にできたり、改めて自分で普段け、給食を食べます。休み時間には、一緒に 通っている学校の良さにも気付くことができ遊んだり校内を案内したりして、交流します。 ます。それによって、学校生活がより充実し、普段とは違う学校生活を経験することは、良 楽しくなると思います。 い刺激になると思います。多人数の学校の児

「とちぎっ子TV」で栃木県を盛り上げる

宇都宮市立横川東小学校 六年

みやざわ
宮澤

りお
里桜

私が知事になったら、「とちぎっ子TV」

ん伝えてもらいたいです。

という番組を作りたいです。「とちぎっ子T

「とちぎっ子TV」によって、栃木県の魅

V」とは、栃木県の魅力をアピールする番組

カをアピールできることはもちろん、今まで

のことです。この番組の制作は、小学生だけ

大人が気付かなかった新たな視点に気付くこ

で行います。出演者から、企画の提案まで、

とができると思います。小学生にしか分から

すべて栃木県の小学生だけで決めていきます。

ない栃木県の魅力があるはずです。

また、この番組を制作する小学生は、栃木県

この番組は、「とちぎテレビ」で放送して

中の小学校から一つ選び、その小学校で取

もらいます。小学生が制作したということも

り組んでもらいます。これを二ヶ月に一度く

あり、家族団らんのきっかけとなって、栃木

り返して、栃木県の魅力を小学校からたくさ

県をもっと盛り上げられると思います。

魅力を伝える「栃木パーク」

下野市立古山小学校 六年

やまぐち
山口 遥
はるか

栃木県には、美しい景色やおいしい食べ物、世界遺産などがたくさんあります。そこで私は、みんなに栃木県の魅力を知ってもらうために、「栃木パーク」を作りたいと思います。「栃木パーク」には、いちごやかんぴょうなど、栃木の有名な農産物を使ったメニューのある飲食店があります。そこでは地産地消にこだわったおいしい料理を食べることができきます。

一番の見どころは、体験型アトラクション

栃木県に興味を持てるようにしたいです。このように、老若男女が楽しく学べて体験することができ施設を作り、みんながより

令和六年度「ジュニア知事さん」には、

県内の小学校四・五・六年生のみなさんから、

一、〇一六点（四年生二七七点、五年生

三三一点、六年生四〇八点）の応募がありました。

なお、知事賞の選考にあたりましては、下記の

方々に選考委員として御協力いただきました。

選考委員

（敬称略）

栃木県おもちゃ図書館連絡会 会長

とちぎおもちゃ図書館 館長

石河 不砂

栃木県小学校教育研究会 国語部会長

宇都宮市立緑が丘小学校 校長

皆川 美弥子

栃木子どもの本連絡会 会長

長岡 広江

文星芸術大学 名誉教授

林 香君

栃木県子ども総合科学館 館長

神山 正幸



発行 栃木県総合政策部広報課

〒320-8501

栃木県宇都宮市塙田1-1-20

TEL : 028-623-2158